

# 子供たちに伝えたい日本の良さ

## 今月のテーマ 東京大空襲と戦後の復興

**昭**和20年(1945年)3月10日未明、東京は、マリアナ諸島を基地とするアメリカ軍のB29爆撃機約300機による約2時間半にわたる空襲を受けました。一晩で約10万人が亡くなり、100万人以上が災し、26万戸以上が焼失しました。この空襲を東京大空襲と言います。その後も日本各地で空襲があり、8月6日広島に、8月9日に長崎に原子爆弾が投下され、日本は、8月14日に連合国側にポツダム宣言の受諾を通告して、降伏しました。戦後、日本は焦土と化した国土から再出発し、GHQによる占領政策、サンフランシスコ平和条約の締結、沖縄の本土復帰、高度経済成長等を経て、世界の国々から「奇跡の復興」と言われる経済大国になりました。今日の繁栄があるのは、この地に住み、働いてきた人々の努力のたまものです。今月は、東京大空襲を取り上げます。

### B29爆撃機の来襲

B29爆撃機は、高度8千mから1万mまでの上空から軍需工場などに爆撃するのが通例でしたが、昭和20年3月10日の空襲では、高度2千mの低空から町工場と住宅街がひしめく下町地域を中心に爆撃を行いました。

爆撃機は現在の台東区、墨田区、江東区にまたがる約40km<sup>2</sup>の地域に爆弾を投下し、無差別爆撃を行いました。そのため、市街地は火の海と化して、東京は焼け野原となりました。



【上野の焼け跡】  
(1945年3月19日 日本写真公社撮影)



(前略) 夜空は真っ赤で、まるで夕焼けのよう。その火の中を老人や女、子どもが逃げまどい、ばたばたとたおれ、煙と火でせめたてられて死んでいった。人々はまた、少しでも水のあるところをもとめ、運河などにとびこんだ。しかし、その水は熱湯になっており、またたくまに死んでしまった。(中略) 背中に赤ん坊をおぶったまま死んでいる母親の焼死体など、あまりのむごたらしさに思わず目をおおうばかりだった。

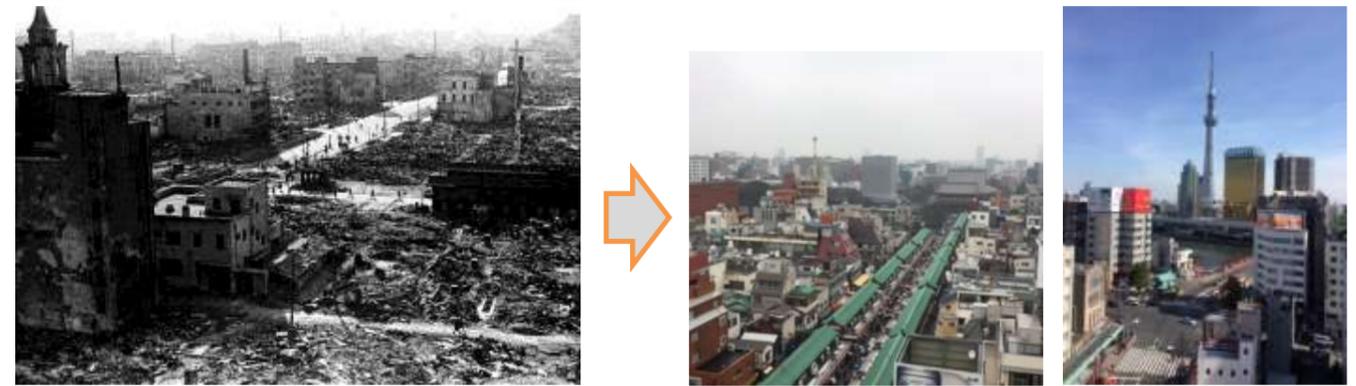
(高木敏子「新版 ガラスのうさぎ」金の星社) ※本文章について流用禁止

### 追悼・慰霊

東京では、昭和17年(1942年)4月18日の最初の空襲から終戦当日の昭和20年(1945年)8月15日に至るまで、アメリカ軍の度重なる空襲により、非戦闘員である多くの都民が犠牲となりました。東京都は、空襲の史実を風化させることなく、また、今日の平和と繁栄が尊い犠牲の上に築き上げられていることを次世代に語り継ぎ、平和が永続することを祈念するため、平成13年(2001年)「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」を建設しました。

この碑の建設に当たっては、「東京の大空襲犠牲者を追悼し平和を願う会」の呼び掛けから、多くの方々の寄附が集まりました。碑の内部には空襲で犠牲になった方々の名前を記録した「東京空襲犠牲者名簿」が納められています。毎年、東京大空襲があった3月10日と関東大震災が起きた9月1日には大法要が行われ、内部が公開されています。

### 戦後の復興



左の写真は昭和20年3月19日の浅草の松屋屋上から見た地下鉄ビル、雷門跡、仲見世などの焼け跡の写真です(日本写真公社・深尾晃三氏撮影)。右の写真は今の浅草付近の写真です。国土の復興のために惜しみなく努力を重ねた人々のおかげで、今の私たちの生活があるのです。

### 体験を後世に

戦争が終結してから70年余りの時が経過しました。現在、戦後生まれの方々は1億人を超え、割合では8割以上となっています。皆さんの祖父母の方の中には、戦争を体験したり、戦後の混乱期を体験したりした世代の方が多いと思われます。是非、祖父母の方や地域の方から、空襲をはじめ戦中・戦後の話を聞いてみましょう。

東京都は、平成2年(1990年)に東京都平和の日条例を制定し、3月10日を「東京都平和の日」としています。この日を機会に、江戸東京博物館や東京慰霊堂、地域の資料館・寺社などを訪問して、当時の人々の思いや私たちにできることなどを考えてみましょう。

## 東京大空襲について学べる施設

### 東京大空襲・戦災資料センター

【内 容】 東京大空襲の惨状を次世代に語り継ぎ、平和の研究と学習に役立つことを願って、多くの方々の募金で設立された、国立・民営の資料センターです。ホームページで東京大空襲についての動画を見ることもできます。  
<http://www.tokyo-sensai.net/>

【利用時間】 水曜日から日曜日まで 午後0時から午後4時まで

【休 館 日】 月曜日・火曜日・年末年始（12月28日から1月4日まで）  
※ 3月9日・10日は曜日にかかわらず閉館します。

【場 所】 東京都江東区北砂一丁目5-4

【電 話】 03-5857-5631

【F A X】 03-5683-3326

【入 場 料】 一般：300円 中・高校生：200円 小学生以下：無料

【交 通】 ・JR「秋葉原駅」中央改札口2番バス乗り場から、都バス《葛西駅行き》（秋26）で35分、「北砂1丁目」下車2分  
・JR「錦糸町駅」南口3番バス乗り場から、都バス《東陽町行き／東京駅丸の内北口行き》（東22）で「扇橋2丁目」下車 徒歩10分



## 東京の歴史について学べる施設

### 東京都江戸東京博物館

【内 容】 常設展は、徳川家康が江戸に入府してから約400年間を中心に、江戸東京の歴史と文化を実物資料や復元模型等を用いて紹介しています。さらに、1階展示室で開催される年5～6回の特別展に加えて、講座や体験教室など様々な活動を展開しています。

【利用時間】 午前 9時30分から午後5時30分まで（土曜日は午前9時30分から午後7時30分まで）  
※ 入場は閉館の30分前まで

【休 館 日】 毎週月曜日（月曜が祝日又は振替休日の場合はその翌日）、

【場 所】 東京都墨田区横網一丁目4-1

【電 話】 03-3626-9974

【F A X】 03-3626-9950

【観覧料（常設展）】 一般：600円  
大学生・専門学校生：480円  
高校生、中学生（都外）・65歳以上：300円  
中学生（都内在学又は在住）・小学生・未就学児童：無料

【交 通】 ・JR総武線 両国駅西口下車 徒歩3分  
・都営地下鉄大江戸線 両国駅（江戸東京博物館前） A3・A4出口 徒歩1分  
・都バス錦27・両28・門33系統、墨田区内循環バス「すみだ百景すみまるくん・すみりんちゃん（南部ルート）」「都営両国駅前（江戸東京博物館前）」下車 徒歩3分



## 伝統・文化に関するイベント等

### ★ 都立中央図書館

#### ○ シリーズ展示～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて～ 「世界中の国のこともっと知ろう！」第3回オセアニア・アジアPart1編

【期間】 平成29年3月3日（金）から同年5月7日（日）まで

【時間】 午前10時から午後8時まで（土日祝日は午後5時30分まで）

【場所】 企画展示室（4階）

【内容】 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、世界の国・地域の生活や文化を、紹介するシリーズ展示を行います。

シリーズ第3回目はオセアニア・アジアPart1編です。中国、韓国をはじめ、オーストラリア、マーシャル諸島、ベトナム等34の国と地域に関する本を集め、展示します。各国紹介のパネル展示や関連ビデオも上映します。



#### ○ 美術展関連・棚展示「2016年展覧会カタログ」

【期間】 平成29年3月3日（金）から同年4月5日（水）まで

【場所】 人文科学系資料・閲覧室 美術情報コーナー（3階）

【内容】 昨年中に国内で開催された展覧会の図録を紹介し、展覧会の図録は、カラーの美しい画像を楽しむ資料であるとともに、最新の研究成果を反映した価値ある資料です。展覧会にいらした方も見逃してしまった方も、この機会に御鑑賞ください。

#### ○ 人文科学情報ミニ展示「絵巻物の世界」

【期間】 平成29年3月3日（金）から同年5月10日（水）まで

【場所】 人文科学系資料・閲覧室（3階）

【内容】 絵巻物では、絵と文字とが交互に描かれ、右から左へと変化していく画面により物語が紡がれていきます。所蔵する複製絵巻を展示し、関連資料を御紹介し、絵巻物を通して、いにしへの日本に思いを馳せてみませんか。

### ★ 生活文化局

#### ○ 第13回子どもたちと芸術家の出あう街 2017

【期間】 平成29年3月25日（土）午後3時開演

【場所】 東京芸術劇場コンサートホール

【内容】 ～大きなスクリーンで世界名作劇場の物語をオーケストラの生演奏と共に～

「世界名作劇場」から『あらいぐまラスカル』より「ロックリバーへ」

リチャード・ロジャース：『サウンド・オブ・ミュージック』より

ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より第1楽章（指揮者体験）

ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」より第4楽章 ほか

【料金】 大人3,500円、小人2,000円 ひざ上（2歳から3歳まで）500円

※小人チケットは中学生以下のお子様を対象としております。

※2歳未満のお子様は御入場いただけません。

【申込み・問合せ】 東京フィルチケットサービス 03-5353-9522

<http://www.tpo.or.jp/>

【テーマにおける引用・参考文献資料、写真提供】

・金の星社 <http://www.kinnohoshi.co.jp/>

・東京大空襲・戦災資料センター <http://www.tokyo-sensai.net/>

※ 本資料に対する御意見・御感想、本資料の活用実践等がありましたら、右記担当へ御連絡ください。今後の資料作成の参考とさせていただきます。

【担当】 東京都教育庁指導部指導企画課  
電 話 03-5320-6869  
ファクシ 03-5388-1733